

7/14 J1チームがキャンプイン!

サッカーJ1リーグ所属の「FC町田ゼルビア」(東京都)のサッカーキャンプ歓迎セレモニーが西原町民陸上競技場で開催されました。

セレモニーでは、西原町・西原町関係団体・事業者の皆様から県産フルーツや島豆腐をはじめとする町内の特産品等が贈呈されました。

黒田剛監督は、「今キャンプを皮切りに、新しいシーズンに向けて頑張っていきたい」と意気込みを語りました。

小橋川副町長は歓迎のあいさつで、「J1リーグで躍進を続けるFC町田ゼルビアの皆様を本町にお迎えでき、大変光栄です。今キャンプが皆様のさらなるご活躍につながることを西原町民一同、心から応援しています」と激励の言葉を送りました。



7/17 地域の子は地域で守り育てる

第46回西原町青少年健全育成町民一斉行動がさわふじ未来ホールで開催されました。

総決起大会では小中高生による意見発表が行われ、平和学習やビーチクリーン活動、友だちとの関わりなど、身近な体験を通して感じた気づきや意見などを元気に発表していました。

その後、笹倉絹代さん(西原町観光まちづくり協会およびNS²BP事務局)による「高校生と歩んだ12年のまち・ひとづくり活動」をテーマにした講演があり、地域の若者に対し、大人ができることについて考えるよい機会となりました。



笹倉絹代さん▲



ますだ 志航さん 伊藤 慎理さん 丹羽 芽々さん 前川 柚子花さん 久高 麗愛さん

7/21 西原南ファイターズ 県外大会へ!

8月13日～16日に福岡県で開催される、キッザニア旗争奪第41回とびうお少年野球大会への出場が決まった西原南ファイターズの選手たちが、西原町役場を訪れました。

キャプテンの山里景央さん(西原南小学校6年)は「一生懸命プレーし、大会で優勝します!」と力強く決意を語りました。

崎原町長は「最後の最後まで諦めずに、一人一人が絶対に優勝するという強い意志を持てば、九州の舞台でも優勝できると思う」と熱いエールを送りました。

7/15 西原町からペルーへ! JICA海外協力隊派遣

国際協力機構(JICA)の海外協力隊として、西原町出身の石川真紀さんが8月からペルーへ派遣されます。任期は2年間で、現地では作業療法士として活動します。

石川さんは「精神科での勤務経験を活かし、現地の対象者がその人らしい生活や回復に向かえるよう支援したい。また、趣味の三線を通した沖縄民謡や方言の紹介、折り紙や羽子板といった日本文化を伝えたい」と意気込みを語りました。



7/21 第50回全国高等学校総合文化祭将棋部門出場報告

秋田県で7月31日・8月1日に開催される第50回全国高等学校総合文化祭将棋部門に出場することになった當銘悠莉さん(首里高校1年)が西原町役場を訪れ、「前回の大会では1勝することができたが苦しい思いもした、その反省を踏まえて一局一局頑張っていきたい」と全国大会への決意を述べました。

崎原町長は「まずは一勝、心の準備が一番大事。初心を忘れず頑張ってください」と激励しました。



7/23 ランチタイムコンサート

ピティナ沖縄支部によるランチタイムコンサートvol.2がさわふじ未来ホール町民ギャラリーで開催されました。多くの親子づれが見守るなか、名探偵コナンのメインテーマやクラシックの名曲などが演奏され、美しいピアノの音色に包まれた素敵なお昼のひと時を過ごしました。



7/30 石川酒造場、日本酒・泡盛の品評会でシルバー賞受賞

全国から多くの酒造メーカーが参加する日本酒の品評会「SAKE COMPETITION」の審査結果が6月に発表され、「泡盛部門」の古酒部門で(株)石川酒造場の「玉友 甕仕込 10年古酒」がシルバー賞に選出されました。同品評会では首里城復興を記念して今年から「泡盛部門」が新設されており、その部門での受賞となります。

受賞結果の報告に訪れた同社の樽岡誠代表取締役社長は、「社の伝統として引き継がれてきた甕仕込製法の技術が評価されたものと感じている。これからも、地域に根差して広く愛される酒造りをしていきたい」と受賞の抱負を述べました。



8/6 2026ピティナ・ピアノコンペティション全国大会 西原町から2組出場!

連弾中級A部門で、黒島凜菜さん(西原中学校3年)、幸地和奏さん(同中2年)／連弾部門中級B部門で、下地悠南子さん(同中3年)、新垣玲花さん(同中2年)が2026ピティナ・ピアノコンペティション沖縄地区本選の連弾部門で、1位に輝き、全国大会進出を決めました。

黒島さんは「結構緊張していたが、3年生で最後だから賞は絶対に取りたいと思っていたので、取れて良かった。全国では一番良い演奏ができるように頑張りたい」と話し、幸地さんは「とても緊張したが、絶対に全国に行くという強い気持ちで挑んだ」と本番を振り返りました。

また下地さんは「この大会で1位を取るというのは8年間ずっと追っていた夢。それが中学校最後で叶って嬉しい。全国でも楽しんで、自分たちの演奏がしたい」と喜びを語り、新垣さんは「本選では、年上がいる中で、思い切って弾けたのが良かった。全国でも、思い切って弾きたい」と意気込みを語りました。

崎原町長は「皆さんの思いが伝われば優勝できる。全国の舞台でしっかり力を発揮してほしい」と激励しました。



▲(左から)下地悠南子さん/新垣玲花さん/幸地和奏さん 黒島凜菜さん/ピアノ講師 新垣尚子さん